

2026 年度定時社員総会

開催日時 2026 年 6 月 10 日(木) 9 時 10 分から 10 時 10 分

開催場所 兵庫県神戸市中央区港島中町 6 丁目 9-1 神戸国際会議場 1 階メインホール (第一会場)

議事の経過及び結果

定款 39 条により新村健会長が議長となった。議長より社員 562 名中 322 名(出席者 60 名、委任状出席 262 名)の出席があり、定款 41 条 1 項に定める定足数を満たしている旨の報告がされ物故会員に対し黙とうが捧げられた後、議事に入った。

第 1 議案 議事録署名人選任

定款 43 条に従い議事録署名人として新村健会長、神崎恒一理事長、大石充副理事長が選任された。

第 2 議案 2025 年度事業報告及び 2026 年度収支決算

神崎恒一理事長より 2025 年度事業報告、庶務の概要、会員の異動情報について報告がされた。続いて大石充財務委員長より 2025 年度収支決算書、貸借対照表、財産目録について資料に基づき説明が行われた。次に杉本研監事より上記書類は適正に処理されており妥当であるとの監査報告があり、他の監事も同意見である旨が述べられた。ついで、議長がその承認を議場に諮ったところ全員異議なく承認可決された。

第 3 議案 2026 年度事業計画及び収支予算

理事長より 2026 年度事業計画について報告がされた。続いて財務委員長より 2026 年度収支予算について説明が行われ、議場に諮ったところ異議なく承認可決された。

第 4 議案 役員選任

理事長より定款 23 条及び定款細則 9 条により本定時社員総会の終結をもって荒井秀典氏、櫻井孝氏が理事を退任すること、佐竹昭介氏(国立長寿医療研究センター 部長)、杉本研氏(川崎医科大学 教授)を新任の理事とすること、杉本研氏が監事を退任すること、松本理器氏(京都大学 教授)を新任の監事とすることが提案され、承認可決した。

第 5 議案 名誉会員および特別会員

理事長より定款 7 条及び定款細則第 3 条 1 項の規定に従い荒井秀典氏、櫻井孝氏を名誉会員に推薦することが提案され承認可決した。

諸報告

- 1) 理事長より各委員会の活動状況、地方会の開催状況、および各賞受賞者について報告が行われた。
- 2) 第 69 回学術集会(2027 年)の準備状況について大石充会長から、第 70 回学術集会(2028 年)の準備状況について海老原覚会長からそれぞれ報告が行われた。

2025年度事業報告

I. 庶務の概要

1. 会員の異動状況 (2026年3月31日現在)

1. 会員の異動

	前年度末	入会	退会	物故者	現在数
会員数	6,078	252	300	19	6,011
(正会員・名誉会員・特別会員・学生会員)					

	前年度末	新任	退任	物故者	現在数
名誉会員	39	2	-	1	40
特別会員	105	13	5	1	113
賛助会員	18	0	3		15
図書会員	130	17	-		147

2. 役員等の異動

	前年度末	新任	退任	物故者	現在数
理事	20	3	3	-	20
監事	3	1	1	-	3
幹事	1	1	1	-	1
代議員	563	-	4	1	560
事務職員	6	-	-	-	6

3. 物故会員(敬称略)

名誉会員	折茂 肇
特別会員	松下 哲
正 会 員	浅井 八多美 伊藤 嘉憲 井上 英士 勝山 和明
	近藤 修二 斎藤 民 澤城 大悟 塩井 淳
	新谷 寿久 説田 浩一 萩原 正道 真島 香代子
	間島 寧興 水谷 澄夫 三谷 健一 本宮 古都美
	谷田部 寛

2. 会議の事項

1. 定時社員総会:

2025 年 6 月 28 日 於 千葉県 幕張メッセ

2. 理事会:

2025 年 6 月 26 日 於 千葉県 幕張メッセと Zoom のハイブリッド

2025 年 7 月 11 日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2025 年 8 月 22 日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2025 年 9 月 25 日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2025 年 10 月 3 日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2025 年 10 月 7 日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2025 年 10 月 28 日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2025 年 12 月 25 日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2026 年 1 月 14 日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2026 年 1 月 27 日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2026 年 1 月 31 日 於 東京都・AP 東京八重洲と Zoom のハイブリッド

2026 年 2 月 19 日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2026 年 3 月 13 日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2026 年 3 月 17 日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

3. あり方委員会:

2025 年 6 月 17 日 於 Zoom

2026 年 1 月 27 日 於 東京都・学会事務所と Zoom のハイブリッド

1) あり方ワーキング:

2025 年 8 月 5 日 於 東京都・学会事務所と Zoom のハイブリッド

2025 年 11 月 10 日 於 東京都・学会事務所と Zoom のハイブリッド

4. 財務委員会:

2025 年 6 月 13 日 於 Zoom

2026 年 1 月 26 日 於 Zoom

5. 総務委員会:

2026 年 10 月 15 日 於 Zoom

2026 年 3 月 9 日 於 Zoom

6. 雑誌編集委員会:

2025 年 9 月 30 日 於 Zoom

2026 年 1 月 13 日 於 Zoom

7. GGI 編集委員会:

2025 年 6 月 5 日 於 Zoom

2025 年 11 月 25 日 於 Zoom

2026 年 1 月 22 日 於 Zoom

8. 専門医制度委員会(専門医試験作成・認定小委員会 合同):

2025 年 11 月 27 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2026 年 2 月 26 日 於 Zoom

9. 高齢者医療研修委員会(研修認定審査小委員会 合同):

2025 年 10 月 23 日 於 Zoom

1) 研修認定審査小委員会:

2026 年 1 月 14 日 於 東京都・学会事務所より持回り

10. 学術プログラム委員会:

2025 年 11 月 7 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2026 年 2 月 25 日 於 Zoom

2026 年 3 月 3 日 於 東京都・学会事務所より持回り

11. 高齢者医療委員会:

1) 在宅医療小委員会:

2026 年 3 月 6 日 於 Zoom

2) 高齢者災害医療小委員会:

2025 年 12 月 18 日 於 Zoom

3) 科学的介護検討小委員会:

2025 年 12 月 4 日 於 Zoom

4) 高齢者がん診療小委員会:

2025 年 4 月 23 日 於 Zoom

2025 年 6 月 2 日 於 Zoom

5) 高齢者栄養小委員会:

2025 年 9 月 24 日 於 Zoom

2025 年 11 月 7 日 於 Zoom

2025 年 11 月 17 日 於 Zoom

2025 年 12 月 25 日 於 Zoom

2026 年 3 月 19 日 於 Zoom

12. 学術委員会:

2026 年 1 月 23 日 於 Zoom

1) 高齢者糖尿病の治療の質向上のための合同委員会:

2025 年 5 月 24 日 於 東京都・日本糖尿病学会事務所と Zoom のハイブリッド

2025 年 8 月 20 日 於 Zoom

2025 年 12 月 3 日 於 Zoom

2026 年 2 月 24 日 於 Zoom

2) 基礎研究部会:

2025 年 9 月 17 日 於 Zoom

2025 年 12 月 17 日 於 Zoom

2026 年 3 月 11 日 於 Zoom

3) CGA・5Ms 最適化・普及 WG:

2025 年 4 月 11 日 於 Zoom

2026 年 1 月 6 日 於 Zoom

13. 教育委員会:

2025 年 6 月 10 日 於 Zoom

2026 年 1 月 20 日 於 Zoom

2026 年 1 月 26 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2026 年 1 月 29 日 於 東京都・学会事務所より持回り

1) 日本語版 ICOPE2 ハンドブック作成 WG:

2026 年 1 月 27 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2) テキスト作成・編集 WG:

2025 年 5 月 14 日 於 Zoom

14. 用語委員会:

2025 年 6 月 17 日 於 東京都・学会事務所より持回り

15. 顕彰委員会:

2025 年 10 月 1 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 11 月 22 日 於 東京都・学会事務所より持回り

16. 優秀論文賞選考委員会:

2026 年 2 月 26 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2026 年 3 月 17 日 於 東京都・学会事務所より持回り

17. 老化および老年医学研究助成選考委員会:

2026 年 1 月 19 日 於 東京都・学会事務所より持回り

18. 高齢者栄養研究助成選考委員会:

2026 年 1 月 19 日 於 東京都・学会事務所より持回り

19. YIA 選考委員会:

2025 年 8 月 4 日 於 Zoom

2025 年 11 月 6 日 於 東京都・学会事務所より持回り

20. 国内交流委員会:

2025 年 4 月 15 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 5 月 14 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 5 月 16 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 5 月 19 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 6 月 2 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 7 月 9 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 7 月 24 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 7 月 28 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 8 月 18 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 9 月 18 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 10 月 20 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 10 月 23 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 11 月 19 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2026 年 1 月 5 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2026 年 1 月 21 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2026 年 1 月 29 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2026 年 1 月 29 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2026 年 2 月 10 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2026 年 3 月 12 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2026 年 3 月 23 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2026 年 3 月 23 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2026 年 3 月 24 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2026 年 3 月 30 日 於 東京都・学会事務所より持回り

22. ダイバーシティ推進委員会:

2025年6月9日 於 Zoom

2025年8月6日 於 Zoom

23. 広報委員会:

2025年6月17日 於 Zoom

II. 事業の状況

1. 学術集会等の開催（定款第 6 条 1 項）

1) 日本老年医学会年次学術集会

第 67 回日本老年医学会学術集会

会期:2025 年 6 月 27 日(金)~29(日)、7 月 15 日(火)~9 月 1 日(月)
(オンデマンド配信)

会長:神崎 恒一(杏林大学医学部高齢医学教室 教授)

会場:幕張メッセ、TKP 東京ベイ幕張ホール

参加者数:2,622 名

学会テーマ:「with Ageing を科学する老年医学」

指定演題他:理事長・会長講演 1 題、特別招請講演 2 題、海外招請
講演 2 題、尼子賞受賞者講演 1 題、教育講演 22 題、教育セミナー 1 題、
ジョイントシンポジウム 7 題、シンポジウム 28 題、Geriatric research update in
Asia1 題、Aging Science Forum5 題、第 7 回 YIA 受賞者講演 3 題、
第 1 回高齢者栄養研究助成受賞者講演 5 題、第 8 回老化および老
年医学研究助成受賞者講演 3 題、実践セミナー 3 題、委員会特別企画
2 題

一般演題数:270 題

2) 日本老年医学会地方学術集会

第 36 回北海道地方会

会期:2025.10.25 会場:札幌医科大学 臨床教育研究棟 講堂

会長:酒井博司(名寄市立総合病院)

発表演題:21 題 参加者 67 名

教育講演:「高齢者慢性心不全・腎臓病患者のマネジメント」中川直
樹(旭川医科大学内科学講座 循環器・腎臓内科学分野)

第 36 回東北地方会

会期:2025.11.15 会場:山形テルサ

会長:太田康之(山形大学第三内科神経学分野)

発表演題:29 題 参加者 64 名

モーニングセミナー:「進行期パーキンソン病におけるデバイス補助療法の最
前線」馬場徹(仙台西多賀病院脳神経内科)

ランチョンセミナー:「レケンビ」継続投与の意義を考える」片山禎夫(片山内
科クリニック)

第 77 回関東甲信越地方会

会期:2026.3.7 会場:社会福祉法人浴風会 認知症介護研
究・研究東京センター

会長:阿部庸子(社会福祉法人浴風会 浴風会病院)

発表演題:29 題 参加者:145 名

教育講演:

1.「高齢者の血圧と合併症の管理～ご家庭での療養生活を支える
地域連携と多職種の関わりについて～」金子英司(東京科学大
学ヘルスケア教育機構 臨床シミュレーション教育室)

2.「高齢者のウイルス性呼吸器感染症の現在とこれから」山口泰弘
(自治医科大学附属さいたま医療センター 呼吸器内科)

スポンサードセミナー:「抗アミロイドβ抗体薬診療時代の MCI・認知症診
療ー認知症観もふまえて」笠貫浩史(聖マリアンナ医科大学 神経精
神科学/順天堂東京江東高齢者医療センターメンタルクリニック)

ランチョンセミナー:

1.「BPSD 診療を考える」古田伸夫(社会福祉法人浴風会病院/
認知症疾患医療センター)

2.「ドナネラブ」はこう説明する～新しいエビデンスを臨床に応用するた

めに～」清水聰一郎(東京医科大学 高齢総合医学分野)

第36回東海地方会

会期:2025.10.4 会場:名古屋大学医学部附属病院中央診療棟 A3階講堂(ハイブリッド開催)

会長:佐竹昭介(国立長寿医療研究センター 老年内科)

発表演題:23題 参加者:243名

テーマ:「Healthy Agingを推進する高齢者医療を考える」

特別講演:

- 1.「フレイル・サルコペニア～診療と研究の最前線～」葛谷雅文(名古屋鉄道健康保険組合名鉄病院)
 - 2.「Healthy Agingを推進するライフコースアプローチ」梅垣宏行(名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学)
- シンポジウム:「高齢期の Healthy Agingを視野に入れた医療の在り方」
- 1.大村卓也(国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 糖尿病・内分泌内科)
 - 2.渡邊一久(名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学)
 - 3.洪英在(日本福祉大学 社会福祉学部)
 - 4.西川満則(社会福祉法人愛光園 介護老人保健施設 相生)

第36回北陸地方会

会期:2026.2.14 会場:金沢医科大学医学教育棟4階

会長:野村祐介(医療法人社団尽誠会野村病院)

発表演題:12題 参加者:41名

特別講演:

- 1.「連携なくして食支援あらず～医科・歯科の協働効果とは～」長谷剛志(公立能登総合病院 歯科口腔外科)
- 2.「PET/MRIで見た脳加齢、認知症(石川ブレインイメージング研究の知見を中心に)」松成一朗(埼玉医科大学病院 核医学診療科)

第36回近畿地方会

会期:2025.11.15 会場:大阪公立大学 阿倍野キャンパス

会長:伊藤義彰(大阪公立大学 脳神経内科学)

発表演題:31題 参加者:158名

教育企画・シンポジウム:テーマ「健康長寿医学が目指すもの」

- 1.柴田利彦(大阪公立大学大学院医学研究科 病因診断学)
- 2.繪本正憲(大阪公立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学・腎臓病態内科学)
- 3.新村健(兵庫医科大学医学部 総合診療内科)
- 4.吉崎崇仁(大阪市立弘済院附属病院 神経内科/大阪公立大学医学研究科 脳神経内科)

ランチョンセミナー:

- 1.「健康長寿社会を目指した認知症医療のあり方」伊藤義彰(大阪公立大学大学院医学研究科 脳神経内科学)
- 2.「多様化する高血圧治療 – 最適な降圧療法とは? –」森克仁(近畿大学奈良病院 内分泌・代謝・糖尿病内科)

市民公開講座:

- 1.「もし家族が認知症になったら」伊藤義彰(大阪公立大学大学院医学研究科 脳神経内科学)
- 2.「認知症がある人への関わりについて」増田 奈美(大阪公立大学医学部附属病院 認知症看護認定看護師)

スポンサードセミナー:

- 1.「早期ADに対するレケンビによる治療の実際」武田景敏(大阪公立大学大学院医学研究科 脳神経内科学)
- 2.「認知症の研究と診療の最前線」樋口真人(大阪公立大学大学

院医学研究科 病院診断科学)

第37回中国地方会

会期:2025.11.22 会場:岡山コンベンションセンター

会長:内田治仁(岡山大学学術研究院医療開発領域 腎臓・糖尿病・内分泌内科)

発表演題:25題 参加者:85名

ランチョンセミナー:「保存期CKDにおける岡山県の医療連携の取り組み～適切なカルウム管理を含めて～」大西康博(岡山大学学術研究院医歯薬学域 慢性腎不全総合治療学講座)

災害対策シンポジウム:

基調講演「2018年西日本豪雨からの復興」村上和春(まび記念病院 理事長)

- 1.「災害対策を考える ～COVID-19クラスターの支援、令和6年能登半島地震の支援から～」柳田大輔(倉敷成人病センター 医療安全管理室)
- 2.「薬剤師が考える防災と災害支援 ～能登半島地震での災害支援を振り返って～」山本奈美(こんこうファーマシー薬局)
- 3.「～能登半島地震～ 病院・高齢者施設への介入に対する期待。」立花誠也(社会福祉法人翔洋会特別養護老人ホーム 玉野山田荘)
- 4.「いざ来る災害への備え～ 高齢者を含めた糖尿病患者の視点から～」村上和敏(公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 糖尿病・内分泌代謝センター 糖尿病内科)

第37回四国地方会

会期:2026.2.22 会場:徳島大学大塚講堂小ホール

会長:森野豊之(徳島大学大学院医歯薬学研究部遺伝情報医学分野)

発表演題:24題 参加者:79名

教育講演:「アミロイドβ蛋白の分子病態とアルツハイマー病の治療・予防」大八木保政(愛媛大学大学院医学系研究科 脳神経内科・老年医学講座)

ランチョンセミナー:「脳小血管病への降圧療法ー脳アミロイド血管症も含めてー」薬師寺祐介(関西医科大学 神経内科学講座)

第36回九州地方会

会期:2026.3.7 会場:宮崎大学清武キャンパス 講義実習棟

会長:塩見一剛(宮崎大学医学部附属病院 脳神経内科)

発表演題:16題 参加者:63名

特別講演:「高齢者医療における地域医療の課題」椎葉 茂樹(宮崎県福祉保健部高鍋保健所)

シンポジウム:「多職種で支える地域の高齢者医療」

- 1.田中信彦(タカ在宅クリニック)
- 2.宇田川充隆(野崎病院 認知症疾患医療センター)
- 3.板谷智也(宮崎大学医学部看護学科 生活・基盤看護科学講座)
- 4.大内山千紘(宮崎大学医学部附属病院 栄養管理部)

3) その他、セミナー研修会等(定款第6条1項7号)

- 1.第19回老年医学サマーセミナー(医学部学生4年生以上、初期研修医が参加対象)

会期:2025年8月1日(金)～2日(土) 参加者:23名

開催地:国立長寿医療研究センター(愛知県大府市)

主催:日本老年医学会、国立長寿医療研究センター

- 2.高齢者医療研修会(2回開催)

会期:2025年6月28日(土)～29日(日)

座学修了者: 76 名、ワークショップ修了者: 59 名
開催地: TKP 東京ベイ幕張ホール(千葉県千葉市美浜区)
主催: 日本老年医学会

会期: 2026 年 3 月 7 日(土)～8 日(日)

座学修了者: 60 名、ワークショップ修了者: 60 名

開催地: 名古屋大学(愛知県名古屋市昭和区)

主催: 日本老年医学会東海支部

3. 老人保健施設管理医師総合診療研修会 修了者: 263 名
主催: 日本老年医学会、公益社団法人全国老人保健施設協会
【座学】会期: 2025 年 7 月 1 日(火)～8 月 29 日(金)

開催: Web によるオンライン開催(上記期間にオンデマンド視聴)

【グループワーク】

会期: 2025 年 9 月 6 日(土)、7 日(日)

開催: Web によるオンライン開催

(上記のいずれか 1 日に Zoom 参加)

4. 第 14 回高齢者栄養療法研修会 修了者: 15 名
会期: 2025 年 12 月 20 日(土)～21 日(日)
開催: 一橋大学一橋講堂(東京都千代田区)
主催: 日本老年医学会

2. 学会誌その他の出版物の刊行 (定款第 6 条 1 項 2 号)

- 1) 学会誌「日本老年医学会雑誌」

1. 定期号 第 62 巻 2 号～4 号及び第 63 巻 1 号 合計 4 冊を発行した。

2. Supplement 第 67 回学術集会講演抄録集として 2025 年 5 月に発行した。

- 2) 英文誌「Geriatrics and Gerontology International」(GGI)
(正式略称 Geriatr Gerontol Int)

1. オンラインで Vol.25 Issue4～Issue12, Vol.26 Issue1～3 を発行した。

2. 2025 年 12 月に Supplement を発行した。Guidelines for Nutritional Management of Sarcopenia and Frailty 2025.

3) その他の出版物

1. 「高齢者総合機能評価(CGA)に基づく診療・ケアガイドライン 2025」を発行し、全会員に配布した。

3. 学会認定 老年科専門医、指導医、認定医の認定 (定款第 6 条 1 項 3 号)

1) 老年科専門医認定試験を CBT 方式により 2025 年 10 月 19 日に実施した(会場は全国の CBT テストセンター約 100 か所)。専門医制度委員会、専門医試験作成・認定小委員会において可否を審議し、理事会の議を経て 54 名を認定した。

2) 2026 年 3 月 31 日の時点で認定を受けた日から満 5 年を経る老年科専門医より提出された更新申請書を審査し、老年科専門医 219 名(うち老年科指導医 125 名)の更新を認定した。

3) 高齢者栄養療法認定医は新規で 10 名を認定し、2020 年に認定された 8 名の更新を認定した。

4) 老人保健施設管理認定医は新規で 14 名を認定し、2020 年に認定された 4 名の更新を認定した。

4. 研究の奨励、研究業績の表彰

- 1) 尼子賞

第 67 回学術集会にて、尼子賞受賞者として鈴木隆雄先生を顕彰した。

- 2) 第 6 回日本老年医学会 YIA

以下の受賞者 3 名を決定し、第 67 回学術集会にて表彰した。基礎: 高橋佑也、社会学・疫学: 辻大士、臨床: 杉本大貴

- 3) 第 32 回日本老年医学会優秀論文賞

日本老年医学会雑誌第 61 巻 1 号から 4 号(2025 年 1 月～2025 年 10 月発行)に掲載された論文の中から選考し、徳永智史、伊藤真紀、山元智穂の 3 名を日本老年医学会優秀論文賞受賞者として第 67 回学術集会にて表彰した。

- 4) 第 17 回 Geriatrics & Gerontology International 優秀論文賞
GGI 誌 Volume 25 に掲載された論文の中から選考し、Safira Khairinisa, Eiji Kose, Yu Mori の 3 名を Geriatrics & Gerontology International 優秀論文賞受賞者として第 68 回学術集会にて表彰した。

- 5) 日本老年医学会老化および老年医学研究助成
第 10 回受賞者を第 67 回学術集会にて表彰した。第 11 回の募集を行い、老化および老年医学研究助成選考委員会にて 3 名が選考され、2026 年 1 月 31 日の理事会により承認された。

- 6) 日本老年医学会高齢者栄養研究助成
第 3 回受賞者を第 67 回学術集会にて表彰した。第 4 回の募集を行い、高齢者栄養研究助成選考委員会にて 5 名が選考され、2026 年 1 月 31 日の理事会により承認された。

5. 内外の関連学術団体との連絡及び協力 (定款第 6 条 1 項 5 号)

- 1) 加盟学術団体である日本老年学会の運営を日本老年社会科学会、日本基礎老化学会、日本老年歯科医学会、日本ケアマネジメント学会、日本老年看護学会、日本老年薬学会と共に協議協力した。
2) 日本老年学会として加盟している国際老年学協会 International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) の活動に参加協力した。

6. 老年医学に関する普及啓発事業 (定款第 6 条 1 項 6 号)

- 1) シンポジウム

1. 2026 年 3 月 8 日 東京大学との共催「認知症を有する人のためのエンドオブライフ・ケア Comfort Feeding を目指して」

7. その他、目的を達成するために必要な事業 (定款第 6 条 1 項 8 号)

各種委員会(あり方委員会、あり方 WG、財務委員会、総務委員会、雑誌編集委員会、GGI 編集委員会、専門医制度委員会、老年科専門医検討小委員会、専門医試験作成・認定小委員会、高齢者医療研修委員会、研修認定審査小委員会、学術プログラム委員会、高齢者医療委員会、保険診療小委員会、認知症対策小委員会、在宅医療小委員会、高齢者災害医療小委員会、感染症対策・ワクチン療法小委員会、骨折転倒対策小委員会、科学的介護検討小委員会、高齢者がん診療小委員会、高齢者栄養小委員会、学術委員会、フレイル・サルコペニア対策小委員会、高齢者糖尿病の治療質向上のための合同委員会、高齢者薬物療法対策小委員会、基礎研究部会、CGA・5Ms 最適化・普及 WG、教育委員会、日本語版 ICOPE2 ハンドブック作成 WG、テキスト作成・編集 WG、用語委員会、顕彰委員会、優秀論文賞選考委員会、老化および老年医学研究助成選考委員会、高齢者栄養研究助成選考委員会、YIA 選考委員会、倫理委員会、エンドオブライフに関する小委員会、利益相反委員会、GL 統括委員会、国際交流委員会、国内交流委員会、ダイバーシティ推進委員会、広報委員会、選挙管理委員会)を開催し、本会の目的を達成するため種々の検討が行われ活動が行われた。

至 2026 年 3 月 31 日

至 2026 年 3 月 31 日		
日	金額	摘要

Ⅱ 貸 借 対 照 表
2026年3月31日現在

Ⅳ 財 産 目 録
2026年3月31日現在

(単位:円)			
科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動 資 産			
現 金	250,001	323,423	△ 73,422
預 金	387,439,680	391,020,822	△ 3,581,142
未 収 会 費	19,965,741	15,964,427	4,001,314
前 払 金	10,000,000	10,000,000	0
流 動 資 産 合 計	417,655,422	417,308,672	346,750
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定 期 預 金	20,000,000	20,000,000	0
基 本 財 産 合 計	20,000,000	20,000,000	0
(2) 特 定 財 産			
① 退 職 積 立 資 産	6,182,600	5,331,000	851,600
② 国際関係費積立資産	18,302,589	18,302,589	0
③ 書籍刊行積立資産	7,401,501	7,401,501	0
④ 研究助成積立資産	27,322,034	27,322,034	0
⑤ 設 備 積 立 資 産	17,098,175	17,098,175	0
⑥ 整 備 積 立 資 産	5,500,882	5,500,882	0
⑦ 事務所費用積立資産	5,451,926	5,451,926	0
⑧ 支部・地方会積立資産	29,585,478	29,287,070	298,408
特 定 財 産 合 計	116,845,185	115,695,177	1,150,008
(3) その他固定資産			
① 建 物 附 属 設 備	3	3	0
② 什 器 備 品	6	119,904	△ 119,898
③ ソ フ ト ウ ェ ア	677,601	871,201	△ 193,600
④ 電 話 加 入 権	216,000	216,000	0
⑤ 保 証 金	6,357,000	6,357,000	0
その他固定資産合計	7,250,610	7,564,108	△ 313,498
固 定 資 産 合 計	144,095,795	143,259,285	836,510
資 産 合 計	561,751,217	560,567,957	1,183,260
Ⅱ 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	3,073,068	2,526,145	546,923
前 受 金	1,000,000	968,000	32,000
預 り 金	503,747	284,564	219,183
仮 受 金	5,000,000	10,094,600	△ 5,094,600
流 動 負 債 合 計	9,576,815	13,873,309	△ 4,296,494
2. 固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	6,182,600	5,331,000	851,600
固 定 負 債 合 計	6,182,600	5,331,000	851,600
負 債 合 計	15,759,415	19,204,309	△ 3,444,894
Ⅲ. 正味財産の部			
1. 指 定 正 味 財 産			
定 期 預 金	20,000,000	20,000,000	0
指 定 正 味 財 産 合 計	20,000,000	20,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
2. 一 般 正 味 財 産			
(うち特定財産への充当額)	(110,662,585)	(110,364,177)	(298,408)
正味財産合計	545,991,802	541,363,648	4,628,154
負債及び正味財産合計	561,751,217	560,567,957	1,183,260

(単位:円)			
科 目	金	額	
I 資産の部			
1. 流 動 資 産			
1) 現 金	250,001		
2) 普 通 預 金			
みずほ銀行本郷支店	41,202,840		
〃	86,780,448		
三菱UFJ銀行春日町支店	8,333,840		
〃	139,841		
郵便振替	136,456,969		
3) 郵 便 振 替 計 金	6,780,889		
〃	9,201,822		
4) 定 期 預 金	15,982,711		
みずほ銀行本郷支店	215,000,000		
三菱UFJ銀行春日町支店	10,000,000		
本郷郵便局	10,000,000		
5) 未 収 金	235,000,000		
正広会職員会費等	17,975,000		
広陵地方会未収分	1,960,451		
北陸地会未収分	30,290		
6) 前 未 収 金	19,965,741		
68・69回	10,000,000		
総会運営費	10,000,000		
2. 固 定 資 産		417,655,422	
1) 基 本 財 産			
みずほ銀行本郷支店	20,000,000		
基 本 財 産 計			
2) 特 定 資 産			
(1) 退 職 積 立 資 産			
みずほ銀行本郷支店	6,182,600		
(2) 国際関係費積立資産			
みずほ銀行本郷支店	18,302,589		
(3) 書籍刊行積立資産			
みずほ銀行本郷支店	7,401,501		
(4) 研究助成積立資産			
みずほ銀行本郷支店	27,322,034		
(5) 設 備 積 立 資 産			
みずほ銀行本郷支店	17,098,175		
(6) 整 備 積 立 資 産			
みずほ銀行本郷支店	5,500,882		
(7) 事務所費用積立資産			
みずほ銀行本郷支店	5,451,926		
(8) 支部・地方会積立資産			
特 定 資 産 計	29,585,478		
3) その他固定資産			
(1) 建 物 附 属 設 備			
ト・ア・フ・ライント・他2点	3		
(2) 什 器 備 品			
取 納 庫 他5点	6		
(3) ソ フ ト ウ ェ ア			
預金口座オプション導入他1点	677,601		
(4) 電 話 加 入 権			
(03)3814-8104 他2本	216,000		
(5) 保 証 金			
杏林ヒール702号	6,357,000		
その他固定資産計	7,250,610		
固 定 資 産 合 計		144,095,795	
資 産 合 計		561,751,217	

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物付属設備及び器具備品・・・定率法による減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	5,331,000	851,600		6,182,600
国際関係費積立資産	18,302,589		0	18,302,589
書籍刊行積立資産	7,401,501		0	7,401,501
研究助成積立資産	27,322,034		0	27,322,034
施設積立資産	17,098,175		0	17,098,175
整備積立資産	5,500,882		0	5,500,882
事務所費用積立資産	5,451,926		0	5,451,926
支部・地方会積立資産	29,287,070	298,408	0	29,585,478
小 計	115,695,177	1,150,008	0	116,845,185
合 計	135,695,177	1,150,008	0	136,845,185

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	(20,000,000)	(0)	—
小 計	20,000,000	(20,000,000)	(0)	—
特定資産				
退職給付引当資産	6,182,600	(0)		(6,182,600)
国際関係費積立資産	18,302,589	(0)	(18,302,589)	—
書籍刊行積立資産	7,401,501	(0)	(7,401,501)	—
研究助成積立資産	27,322,034	(0)	(27,322,034)	—
施設積立資産	17,098,175	(0)	(17,098,175)	—
整備積立資産	5,500,882	(0)	(5,500,882)	—
事務所費用積立資産	5,451,926	(0)	(5,451,926)	—
支部・地方会積立資産	29,585,478	(0)	(29,585,478)	—
小 計	116,845,185	(0)	(110,662,585)	(6,182,600)
合 計	136,845,185	(20,000,000)	(110,662,585)	(6,182,600)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	2,561,713	2,561,710	3
器具備品	7,038,393	7,038,387	6
ソフトウェア	1,283,900	606,299	677,601
合 計	10,884,006	10,206,396	677,610

2026年6月8日

一般社団法人日本老年医学会
代表理事 神崎 恒一 殿

一般社団法人日本老年医学会

監 事 浦野 友彦

監 事 清水 聡一郎

監 事 杉本 研



監 査 報 告 書

私たち監事は、2025年4月1日から2026年3月31日までの当法人の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等から財産の状況及び職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果
計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

2026 年度事業計画

1. 学術集会等の開催（定款第 6 条 1 項）

1) 日本老年医学会年次学術集会

第 68 回日本老年医学会学術集会

会 期:2026 年 6 月 11 日(木)～13 日(土)(於:神戸国際会議場、神戸ポートピアホテル) (オンデマンド配信 2026 年 6 月 25 日(木)～8 月 31 日(月))

会 長:新村 健(兵庫医科大学総合診療内科学 主任教授)

学会テーマ:「Geriatrics and Gerontology for everyone, for the future」

特別講演:「老いと病い;免疫老化の観点から」

湊長博(京都大学)

海外招請講演 1:

「Epigenetic Reprogramming During Aging and Rejuvenation」

Juan Carlos Izpisua Belmonte(Founding Scientist, Altos Labs)

特別招請講演 2:

「The era of AI: What is coming and what should be the role of geriatricians?」

Chang-Won Won (Kyung Hee University)

尼子賞受賞講演:「高齢者医療と研究の隘路と光」

鳥羽研二(東京都健康長寿医療センター/国立長寿医療研究センター)

会長講演:「Geriatrics and Gerontology for everyone, for the future」

新村健(兵庫医科大学総合診療内科)

理事長講演:「日本老年医学会の最近の活動」

神崎恒一(東京都健康長寿医療センター)

教育講演

- 1 「日英の診療から学ぶ 誤嚥性肺炎管理 update」吉松由貴(セント・トーマス病院)
- 2 「高齢者診療における日常生活トラブルへの対応ー認知機能・社会的脆弱性・地域連携の視点からー」藤沢知里(名古屋大学)
- 3 「ACP における CGA の活用」杉本研(川崎医科大学)
- 4 「プログラム医療機器等を用いた今後の精神科診療の展望ー不眠を含めてー」岸本泰士郎(慶應義塾大学)
- 5 「なぜ米国の外科医は老年科医を呼ぶのか? ～『呼ばれる専門家』になるためのコンサルト術～」山田悠史(Icahn School of Medicine at Mount Sinai)
- 6 「認知症初期集中支援チームのこれまでとこれからー地域における認知症対応多職種チームの役割ー」鷺見幸彦(認知介護研究・研修大府センター)
- 7 「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2025 について」小川純人(東京大学)
- 8 「低ナトリウム血症の鑑別(MRHE と SIADH の違いも含めて)」長澤康行(兵庫医科大学)
- 9 「骨格筋-視床下部-褐色脂肪組織ネットワークによる個体老化制御機構の解明」森健太郎(国立長寿医療研究センター)
- 10 「新しいサルコペニアの診断基準を考える～AWGS 2025 の改訂点～」荒井秀典(国立長寿医療研究センター)
- 11 「地域包括ケアと急激な少子高齢化を見据えた医療・介護、そして健康づくり、フレイル対策」宇都宮啓(慶應義塾大学)
- 12 「入院中の栄養状態の悪化(HAM): 概念と評価の課題」中嶋宏貴(医療法人和光会山田病院)

- 13 「高齢者疾患に対する漢方診療:消化器症状・フレイルに対するエビデンス」浅岡大介(順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター)
- 14 「Transgenerational Inheritance of Epigenetic Memory in Mammals」Yuta Takahashi (International Research Center for Medical Sciences)
- 15 「Programming the Body to Produce Therapeutic Proteins: Toward a New Strategy for Age-Related Diseases」Keiichiro Suzuki (The University of Osaka)
- 16 「アルツハイマー型認知症診療の実際」伊藤義彰(大阪公立大学)
- 17 「最新の脳卒中治療:血管内治療の発展を中心に」吉村紳一(兵庫医科大学)
- 18 「先進技術を利用したリハビリテーション医療の実際」道免和久(兵庫医科大学)
- 19 「高齢者の糖尿病マネジメントと腸内細菌叢」入江潤一郎(関西医科大学)
- 20 「高齢者心不全における Stage A・B からの発症予防戦略: 山口県が挑む地域完結型モデルの構築」佐野元昭(山口大学附属病院)
- 21 「高齢者の膠原病・リウマチ診療における注意点」藤井隆夫(和歌山県立医科大学)
- 22 「介護・医療現場における転倒・転落、誤嚥等に関する法律問題について」小宮仁(名古屋大学)
- 23 「老年医学領域における実装科学:エビデンスが現場で活用されるために」大須賀洋祐(芝浦工業大学)

シンポジウム

- 1 well-being とポジティブサイコロジー～幸福な老いとは何か・どう支えるか～
座長: 庄嶋健作(兵庫医科大学)、西田裕紀子(国立長寿医療研究センター)
西田裕紀子(国立長寿医療研究センター)
竹屋泰(大阪大学)
日下菜穂子(同志社女子大学)
片桐恵子(神戸大学)
- 2 (日本呼吸器学会) 高齢者におけるワクチン診療
座長: 大石和徳(富山県衛生研究所)、山口泰弘(自治医科大学附属さいたま医療センター)
岩永直樹(長崎大学)
大石和徳(富山県衛生研究所)
関雅文(埼玉医科大学医学部国際医療センター)
山口泰弘(自治医科大学附属さいたま医療センター)
永井英明(国立病院機構東京病院)
- 3 食のエビデンス:2025 年版「日本人の食事摂取基準」と今後の改定を見据えて
座長: 梅垣宏行(名古屋大学)、大塚礼(国立長寿医療研究センター)
朝倉敬子(東邦大学)
松本麻衣(医薬基盤・健康・栄養研究所栄養疫学・政策研究センター)
畑本陽一(国立健康・栄養研究所臨床栄養研究センター)
栗原晶子(大阪公立大学)
大村卓也(国立長寿医療研究センター)
- 4 (日本糖尿病学会) 高齢者糖尿病の心血管代謝異常の管理

- 座長:鈴木亮(東京医科大学)、田村嘉章(東京都健康長寿医療センター)
- 鈴木亮(東京医科大学)
山本浩一(大阪大学)
前澤善朗(千葉大学)
浅原哲子(国立長寿医療研究センター)
高橋宏和(佐賀大学)
- 5 (日本老年学会) 老年学として考えるエンド・オブ・ライフ(EOL)
座長:樂木宏実(市立伊丹病院)、飯島勝矢(東京大学)
樂木宏実(市立伊丹病院)
会田薫子(東京大学)
堀田晴美(東京都健康長寿医療センター)
菊谷武(日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック)
高砂裕子(全国訪問看護事業協会)
五十嵐歩(千葉大学)
赤尾眞(米沢市立病院)
- 6 骨折管理と2次予防(FLS含む)・内科医と整形外科医のコマネジメント
座長:大黒正志(金沢医科大学病院)、東浩太郎(東京大学)
本橋健史(板橋中央総合病院)
田中雅博(社会医療法人生長会ベルビアノ病院)
宮尾益理子(アットホーム表参道クリニック)
- 7 高齢労働者の就労と労働災害
座長:樂木宏実(市立伊丹病院)、藤原佳典(東京都健康長寿医療センター)
飯島勝矢(東京大学)
渡辺修一郎(桜美林大学)
村山洋史(東京都健康長寿医療センター)
松垣竜太郎(産業医科大学)
- 8 「立場表明 2025」を活かす緩和ケア看取り処方の実際
座長:片山陽子(香川県立保健医療大学)、山崎博充(兵庫医科大学)
会田薫子(東京大学)
勝谷友宏(勝谷医院)
西川満則(介護老人保健施設相生)
平原佐斗司(東京ふれあい医療生活協同組合梶原診療所)
山崎博充(兵庫医科大学)
柳川まどか(名古屋大学)
平川仁尚(あいち健康の森健康科学総合センター)
- 9 AI 医療の未来予想図
座長:亀山征史(東京都健康長寿医療センター)、富田尚希(東北医科大学薬科大学)
奥真也(東京科学大学医療・創薬イノベーション教育開発機構)
小池敦(東北大学)
阿部吉倫(Ubie 株式会社)
- 10 超高齢社会における医療 DX の現在と未来
座長:大石充(鹿児島大学)、海老原寛(東北大学)
野村和至(医療法人社団野村医院)
藤田卓仙(東京財団)
土橋卓也(製鉄記念八幡病院)
小西正三(大阪大学)
佐原博之(日本医師会)
- 11 内在性能力評価に基づく健康増進
座長:島田裕之(国立長寿医療研究センター)、神出計(大阪大学)
- 佐竹昭介(国立長寿医療研究センター)
大塚礼(国立長寿医療研究センター)
樺山舞(大阪大学)
牧迫飛雄馬(鹿児島大学)
- 12 認知症共生社会の実現と医療者の役割
座長:武地一(医療法人生生会まつかげシニアホスピタル)、長井篤(島根大学)
矢吹知之(高知県立大学)
數井裕光(高知大学)
里直行(国立長寿医療研究センター)
川井元晴(認知症のひとと家族の会)
田中志子(医療法人大誠会内田病院)
- 13 高齢化社会における循環器救急診療を再考する
座長:北岡裕章(高知大学)、青山里恵(船橋市立医療センター)
末永祐哉(順天堂大学)
宮地秀樹(日本医科大学付属病院)
林智彦(船橋市立医療センター)
田中旬(三井記念病院)
長谷川浩(杏林大学)
- 14 認知症予防(食・運動・その他)
座長:濱野忠則(金沢医科大学)、石井伸弥(医療法人社団知仁会メープルヒル病院)
大田秀隆(秋田大学)
濱野忠則(金沢医科大学)
池内健(新潟大学)
大沼貴子(秋田大学)
- 15 リalent教育
座長:秋下雅弘(東京都健康長寿医療センター)、飯島勝矢(東京大学)
飯島勝矢(東京大学)
大河内二郎(介護老人保健施設竜間之郷)
田中志子(医療法人大誠会内田病院)
石垣泰則(医療法人社団悠輝会コーラルクリニック)
- 16 (日本臨床栄養学会) 高齢者の栄養問題(カヘシアと肥満対策)
座長:葛谷雅文(名鉄病院)、横手幸太郎(千葉大学)
前田圭介(愛知医科大学)
鈴木規雄(聖マリアナ医科大学)
杉本研(川崎医科大学)
前澤善朗(千葉大学)
- 17 (日本骨粗鬆症学会) 運動器疾患に対する先制医療
座長:浦野友彦(国際医療福祉大学)、小川純人(東京大学)
太田博明(川崎医科大学)
茂呂徹(東京大学)
細山徹(国立長寿医療研究センター)
浦野友彦(国際医療福祉大学)
- 18 (CGA・5Ms 検討ワーキンググループ) 5(4)Ms を高齢者診療に実装する
座長:梅垣宏行(名古屋大学)、山本浩一(大阪大学)
山田悠史(Icahn School of Medicine at Mount Sinai)
藤本拓(大阪大学)
富田尚希(東北医科大学薬科大学)
松井陽祐(医療法人心月会じょうど医院)
坂井智達(九州大学)
- 19 (高齢者がん診療小委員会) 高齢者がん診療 2026〜がんをわずらう高齢者を支える介護保険制度〜

- 座長:石井正紀(国際医療福祉大学)、津端由佳里(岐阜大学)
山本寛(東京都健康長寿医療センター)
杉本研(川崎医科大学)
賢見卓也(みるみる訪問看護ステーション)
- 20 高齢者の薬物療法(PIMs と認知症関連合併症含む)
座長:小島太郎(国際医療福祉大学)、竹屋泰(大阪大学)
溝神文博(国立長寿医療研究センター)
渡邊一久(名古屋大学)
浜田将太(東京薬科大学)
糝屋絵理子(大阪大学)
- 21 Aging Science Forum
座長:石神昭人(東京都健康長寿医療センター)、近藤祥司(京都大学医学部附属病院)
杉本昌隆(国立長寿医療研究センター)
石神昭人(東京都健康長寿医療センター)
近藤祥司(京都大学医学部附属病院)
田久保圭誉(東北大学)
- 22 (日本救急医学会)高齢者救急医療:我々は何をしなければならぬのか
座長:長谷川浩(杏林大学)、熊田恵介(岐阜大学医学部附属病院)
小島太郎(国際医療福祉大学)
長永真明(兵庫県立尼崎総合医療センター)
稲垣伸洋(日本救急医学会高齢者救急委員会)
仁平敬士(湘南鎌倉総合病院)
真弓俊彦(地域医療機能推進機構中京病院)
- 23 (日本プライマリ・ケア連合学会/高齢者医療・在宅医療委員会)「地域包括診療の未来」と「地域共生社の創生」
座長:野村和至(医療法人社団野村医院)、木村琢磨(東京科学大学)、山口潔(医療法人社団創福会ふくろうクリニック等々力)
香取照幸(一般社団法人未来研究所臥龍)
野村和至(医療法人社団野村医院)
大橋博樹(医療法人社団家族の森多摩ファミリークリニック)
山本則子(東京大学)
松村真司(松村医院)
山口潔(医療法人社団創福会ふくろうクリニック等々力)
- 24 高齢者コホート研究に基づくフレイルの理解深化
座長:杉本研(川崎医科大学)、神出計(大阪大学)
田原康玄(静岡社会健康医学大学院大学)
二宮利治(九州大学)
新村健(兵庫医科大学)
牧迫飛雄馬(鹿児島大学)
- 25 サルコペニアフレイル予防(デシタルヘルス+栄養)
座長:荒井秀典(国立長寿医療研究センター)、葛谷雅文(名鉄病院)
山本浩一(大阪大学)
山田実(筑波大学)
佐竹昭介(国立長寿医療研究センター)
飯島勝矢(東京大学)
- 26 (日本抗加齢医学会)生物学的老化を指標とした老化制御(エピジェネティッククロック含む)
座長:山岸昌一(昭和医科大学)、中神啓徳(大阪大学)
山田秀和(近畿大学医学部)
井手久満(順天堂大学)
加藤尚也(千葉大学)
- 竹下ひかり(森ノ宮医療大学)
- 27 (教育委員会)老年医学教育 学生から専攻医までのシームレスな教育のために
座長:梅垣宏行(名古屋大学)、古川勝敏(医療法人仙台医療福祉会仙台富沢病院)
金子英司(東京科学大学)
富田尚希(東北医科薬科大学)
金岡聖泰(名古屋大学)
東浩太郎(東京大学)
- 28 政策と現場をつなぐデータインフラ:科学的介護情報システムの可能性
座長:小川純人(東京大学)、大西丈二(国立長寿医療研究センター)
渡邊周介(厚生労働省)
秋下雅弘(東京都健康長寿医療センター)
大河内二郎(介護老人保健施設竜間之郷)
福井小紀子(東京科学大学)
- 29 (日本腎臓学会)CKD 診療 update(サルコペニアフレイル合併例、緩和ケア含む)
座長:伊藤孝史(帝京大学ちば総合医療センター)、美馬晶(大阪医科薬科大学)
江里口雅裕(奈良県立医科大学)
神田英一郎(川崎医科大学)
蒲澤秀門(新潟大学)
長澤康行(兵庫医科大学)
会田薫子(東京大学)
- 30 (日本転倒予防学会)老年症候群と転倒
座長:山田実(筑波大学)、東浩太郎(東京大学)
永井宏達(兵庫医科大学)
島田裕之(国立長寿医療研究センター)
山本龍生(神奈川歯科大学)
- 31 高齢者の摂食嚥下機能障害と誤嚥性肺炎
座長:海老原覚(東北大学)、前田圭介(愛知医科大学)
千田一嘉(金城学院大学)
加賀谷斉(国立長寿医療研究センター)
岡崎達馬(東北大学)
海老原孝枝(東京慈恵会医科大学)
- 32 高齢者における2次性サルコペニア〜治療の最前線〜
座長:渡邊一久(名古屋大学)、西川浩樹(大阪医科薬科大学)
杉本大貴(国立長寿医療研究センター)
石井正紀(国際医療福祉大学)
窪菌琢郎(鹿児島大学)
西川浩樹(大阪医科薬科大学)
- 33 持続可能な医療制度
座長:横手幸太郎(千葉大学)、新村健(兵庫医科大学)
森光敬子(厚生労働省医政局)
江澤和彦(公益社団法人日本医師会)
神崎恒一(東京都健康長寿医療センター)
横手幸太郎(千葉大学)
清元秀泰(姫路市)
- 34 (基礎研究部会)Translational Aging Science(若手研究者を中心に)
座長:山本浩一(大阪大学)、杉本研(川崎医科大学)
藤田諒(筑波大学)
加藤尚也(千葉大学)
池田義之(国立病院機構南九州病院)

加瀬義高(東京大学医学部附属病院)
藤田泰典(東京都健康長寿医療センター)
35 認知症研究の最前線(基礎と臨床)
座長:清水聰一郎(東京医科大学)、久原真(札幌医科大学)
島田斉(新潟大学)
春日健作(国立長寿医療研究センター)
小原知之(九州大学)
里直行(国立長寿医療研究センター)

36 口腔機能と健康長寿
座長:長澤康行(兵庫医科大学)、野村良太(広島大学)
長谷川陽子(新潟大学)
楠博(大阪歯科大学)
長澤康行(兵庫医科大学)
伊藤誓悟(自衛隊入間病院)
三崎太郎(聖隷浜松病院)

Asian conference for Geriatrics and Gerontology

Clinical Frailty Scale as the Sixth Vital Sign: AI- and ICT-Enabled

Frailty Assessment and Data Integration

座長:荒井秀典(国立長寿医療研究センター)、Jaw-Shiun Tsai(Taiwan Association of Gerontology and Geriatrics)
Jae-Young Lim(Seoul National University)
Chang Won Won(Kyung Hee University Hospital)
Koichi Yamamoto(The University of Osaka)
Yosuke Osuka(Shibaura Institute of Technology)
Hsiang-Kuang Tseng(MacKay Memorial Hospital)

会長特別企画・高連協合同シンポジウム(高齢社会 NGO 連携協議会)

高齢期の well-being をどう実現するか〜地域との連携とその可能性

座長:大内尉義(国家公務員共済組合連合会虎の門病院)、清水肇子(公益財団法人さわやか福祉財団)

1. 「高齢社会 NGO 連携協議会の現在の活動」大内尉義(国家公務員共済組合連合会虎の門病院)
2. 「多様な well-being を地域で支えるーパネLDイスカッションの趣旨」清水肇子(公益財団法人さわやか福祉財団)
3. 「高齢期の well-being を支える地域連携の実践ー栃木県県北部での取り組みからー」
パネリスト:浦野友彦(国際医療福祉大学)
4. 3C・高齢期の well-being を実現するキーワード〜集う(come together)・紡ぐ(compose)・創り出す(create)〜
パネリスト:石田路子(NPO 法人高齢社会をよくする女性の会)
5. 地域活動でつながりづくりー神戸の取り組みから
パネリスト:中村順子(認定 NPO 法人コミュニティ・サポートセンター神戸)

第 8 回 YIA 受賞者講演

座長:武地一(医療法人生生会まつかげシニアホスピタル)、里直行(国立長寿医療研究センター)
伊藤尚基(国立長寿医療研究センター)
大須賀洋祐(芝浦工業大学)
広瀬環(国際医療福祉大学)

第 2 回高齢者栄養研究助成受賞者講演(2024 年度受賞)

座長:前田圭介(愛知医科大学)、山本浩一(大阪大学)
内田一彰(国立長寿医療研究センター)
木下かほり(国立長寿医療研究センター)
近藤嘉高(東京都健康長寿医療センター)
野里陽一(市立豊中病院)

広瀬環(国際医療福祉大学)

第 9 回老化および老年医学研究助成受賞者講演(2024 年度受賞)

座長:小川純人(東京大学)、武田朱公(大阪大学)
五十嵐正樹(東京大学医学部附属病院)
佐藤迪夫(熊本大学)
鈴木秀明(東北大学病院)

若手・基礎ミートアップ(教育委員会)

座長:浦野友彦(国際医療福祉大学)、竹屋泰(大阪大学)
シニアアドバイザー:梅垣宏行(名古屋大学)、久保亨(高知大学)、窪
蘭琢郎(鹿児島大学)、佐竹昭介(国立長寿医療研究セン
ター)、長井篤(島根大学)

みんなのティーサロン(第 9 回)2026(ダイバーシティ推進委員会)

全国の仲間と一緒に広げよう、つながりの輪!
オーガナイザー:久保亨(高知大学)

キャスト:

長谷部浩平(医療法人溪仁会手稲溪仁会病院)
大田秀隆(秋田大学)
小原聡将(医療法人千秋会里村医院)
馬淵卓(東京科学大学)
服部ゆかり(東京大学)
中村了(栄エンゼルクリニック)
細野奈穂子(福井大学医学部附属病院)
藤平和弘(播磨社会復帰促進センター医務課診療所)
西川真那(倉敷中央病院)
北代亮太郎(高知医療センター)
川添晋(鹿児島大学)
軸丸美香(垂水市立医療センター垂水中央病院)

ワークショップ

J-MINT 体験会

イントロ:櫻井孝(国立長寿医療研究センター)
概要説明:内田一彰(国立長寿医療研究センター)
インストラクター:伊藤聖子(一般社団法人カンワーク)、角田奈美江
(コナミスポーツ株式会社)
まとめ:古和久朋(神戸大学)

漢方ワークショップ

高齢者における漢方診療の基礎と臨床

座長:新村健(兵庫医科大学)
講師:千福貞博(センプククリニック)
ファシリテーター:千福貞博(センプククリニック)、八幡暁直(HABA クリニ
ック院長)、福原慎也(えのもとクリニック院長)

市民公開講座

1. 「老いのスピードは変えられる！ー科学が証明する、運動・栄養・
社会交流と青春の記憶ー」石井好二郎(同志社大学)
2. 「認知症って予防できるの？ー最新の認知症予防プログラムとは
ー」櫻井孝(国立長寿医療研究センター)
3. 対談「いつまでも輝き続けるために」
掛布雅之(元阪神タイガース選手、現阪神タイガース OB 会長)
石井好二郎(同志社大学)
櫻井孝(国立長寿医療研究センター)
新村健(兵庫医科大学)

優秀演題賞候補セッション

座長:海老原寛(東北大学)、浦野友彦(国際医療福祉大学)

選考委員:島田裕之(国立長寿医療研究センター)、岡崎達馬(東北大学)、前田圭介(愛知医科大学)、長澤康行(兵庫医科大学)

「細胞老化に伴う代謝変容を標的としたセリス機構」三河拓己(京都大学)

「血管内皮細胞における RAGE-AT1 複合体を介した $\text{A}\beta 1\text{-}42$ 取り込み調節とアルツハイマー病の病態生理機能」郭イク(大阪大学)

「血管内皮機能障害における α -シヌクレインの病態生理機能および加齢に伴う認知症への影響の検討」王紫微(大阪大学)

「アルツハイマー病におけるタウ伝播を標的としたワクチン療法の最適化エピソードの同定」伊藤祐規(大阪大学)

「高齢者糖尿病における多因子ライフスタイル介入の抑うつ症状に対する効果:Individual Participant Data に基づくメタ解析」杉本大貴(国立長寿医療研究センター)

「フレイルの性差に関する検討:地域在住高齢女性において疲労感・軽度認知障害の独立した予測因子である12年間の縦断研究」呂偉達(東京大学)

「骨格筋内脂肪の蓄積部位とサルコペニアリスクの関係」長谷川歩菜(訪問看護リハビリテーション癒々)

「誤嚥性肺炎で入院した認知症高齢者における多疾患併存の死亡退院リスク:DPC 全国データによる検討」桜澤邦男(東北大学病院)

一般演題:285 題

2) 地方会の開催

第 37 回日本老年医学会 北海道地方会

会長:久原真(札幌医科大学)

会期:2026 年 9 月 26 日(土) 会場:札幌医科大学記念ホール

第 37 回日本老年医学会 東北地方会

会長:大平弘正(福島県立医科大学)

会期:2026 年 10 月 31 日(土) 会場:コラッセふくしま

第 78 回日本老年医学会 関東甲信越地方会

会長:小川純人(東京大学大学院医学系研究科)

会期:2027 年 3 月 6 日(土) 会場:日本教育会館

第 37 回日本老年医学会 東海地方会

会長:新堂晃大(三重大学大学院医学系研究科)

会期:2026 年 10 月 10 日(土)

会場:名古屋大学医学部附属病院、Zoom(ハイブリッド開催)

第 37 回日本老年医学会 北陸地方会

会長:未定

会期:2027 年 2 月 会場:未定

第 37 回日本老年医学会 近畿地方会

会長:山田祐一郎(関西電力病院)

会期:2026 年 10 月 31 日(土) 会場:中央電気倶楽部

第 38 回日本老年医学会 中国地方会

会長:吉野純(島根大学)、副会長:長井篤(島根大学)

会期:2026 年 10 月 17 日(土) 会場:ツインリーブスホテル出雲

第 38 回日本老年医学会 四国地方会

会長:桑原昌則(高知県立あき総合病院)

会期:2027 年 2 月 14 日(日)

会場:高知市文化プラザかるぼーと

第 37 回日本老年医学会 九州地方会

会長:山本英一郎(熊本大学大学院)、陣内秀昭(陣内病院)

会期:2027 年 3 月 13 日(土) 会場:熊本大学病院

1) その他、セミナー研修会等(定款第 6 条 7 項)

1) 第 20 回老年医学サマーセミナー

主催:国立長寿医療研究センター、日本老年医学会

会期:2026 年 8 月 7 日~8 月 8 日(1泊2日)

開催地:L Stay & Glow 南砂町

対象:医学部に在籍する学生、初期臨床研修医、専攻医。学会から宿泊を用意し交通費を助成する。

目的:老年医学の最前線を学ぶ。

2) 高齢者医療研修会

座学形式の高齢者医療研修会(8 時間程度)を開催する。

ワークショップ形式の高齢者医療研修会(8 時間程度)を開催する。

2026 年 6 月 13 日~6 月 14 日

3) 老人保健施設管理医師総合診療研修会

共催:日本老年医学会、全国老人保健施設協会

協力:国立長寿医療研究センター

Web 研修(座学):2026 年 7 月 1 日~8 月 31 日

Web 研修(グループワーク):2026 年 9 月(予定)

対象:老健施設等に勤務する医師・歯科医師

4) 高齢者栄養療法研修会

第 15 回:2026 年 12 月 12 日~12 月 13 日(予定)

5) マスタークラス

主催:IAGG AOR、Philippines Society of Geriatrics and Gerontology, St. LUKE'S MEDICAL CENTER

会期:2026 年 5 月 22 日~24 日

開催地:St. LUKE'S MEDICAL CENTER -GLOBAL CITY フィリピン(マニラ)

対象:43 歳未満の本会会員、本会から参加費、交通費を助成する。

2. 学会誌その他の出版物の刊行(定款第 6 条 2 項)

1) 和文誌「日本老年医学会雑誌」

1. 定期号 第 63 巻 2 号~4 号及び第 64 巻 1 号 合計 4 冊発行予定

2. Supplement 第 68 回学術集会講演抄録集として第 62 巻の Supplement を 5 月に発行予定

2) 英文誌「Geriatrics & Gerontology International」

1. 月刊誌としてオンラインで年 12 回発行予定

2. Supplement を 4 月に発行予定 English Translation of the Japanese Guideline for Digital Health for the Prevention and Improvement of Sarcopenia and Frailty.

3) その他の出版物

1. 『必携 老年科』医学部学生及び老年科専門医試験受験者向けのテキストとして 12 月に発行予定

2. 『ICOPE 高齢者のための包括的ケアハンドブック: プライマリケアにおけるパーソンセンタードな評価と手順に関するガイダンス第 2 版』WHO の刊行物の日本語版

3. 『一般救護者用災害時高齢者医療マニュアル第 3 版』

3. 老年科専門医、指導医、専門研修施設、認定医の認定(定款第 6 条 1 項 3 号)

1) 新専門医制度への対応・整備

「整備基準」について日本専門医機構の承認に向けて対応・整備

を行う。

- 2) 老年科指導医の認定、老年科専門研修施設の認定、老年科専門研修の推進
「整備基準」に基づき作成される申請書類の審査を実施し、新たな老年科指導医、並びに老年科専門研修施設を認定するとともに、老年科専門研修の実施を支援し、優れた老年科専門医の養成を推進する。
- 3) 老年科専門医認定試験の実施と老年科専門医の認定
老年科専門医認定試験を2026年10月に実施する。引き続きCBT方式にて行う予定。今年度は、プール問題について、ブラッシュアップ作業を専門医試験作成・認定小委員会にて行い出題する予定。
- 4) 高齢者栄養療法認定医と老人保健施設管理認定医の、新規認定と更新認定を進める。

4. 研究の奨励、研究業績の表彰（定款第6条4項）

- 1) 尼子賞
老年医学の発展に格別な貢献、功労のあった方を顕彰する。
- 2) 長寿科学賞
公益財団法人長寿科学振興財団による賞で、日本老年学会の7構成学会から1名ずつ推薦された受賞者を表彰する。応募時点で3年度以上の会員歴、応募年度末で(原則)満43歳未満、或いは大学卒業後18年以内の会員で、日本老年学会の他の構成学会で同年に設けている「長寿科学賞」に応募していないこと、また「長寿科学賞」の既受賞者でないことを要件とし、1名選出する。
- 3) 日本老年医学会 YIA
会員歴3年以上、応募年度末で43歳未満、或いは大学卒業後18年以内の会員を対象とし、基礎研究分野、社会学・疫学研究分野、臨床研究分野の各分野で1名を選考し、表彰する。
- 4) 日本老年医学会 老化および老年医学研究助成
老年医学における基礎、臨床、社会学・疫学研究において、新知見の得られる可能性を持つ革新的な研究プロジェクトに対し、3件を選考し、助成金を授与する。
- 5) 日本老年医学会 高齢者栄養研究助成
㈱大塚製薬工場からの研究助成。老年栄養学に関する臨床研究、レジストリ構築、基礎研究、調査等の幅広い研究分野より5件を選考し、助成金を授与する。
- 6) 日本老年医学会優秀論文賞
和文誌:日本老年医学会雑誌第63巻1号から4号(2026年発行)に掲載された論文の中から優秀な論文を選考し、表彰する。
- 7) Geriatrics & Gerontology International (GGI) 優秀論文賞
英文誌:Geriatrics & Gerontology International Vol.26 Issue1 から Issue12 (2026年発行)に掲載された論文の中から優秀な論文を選考し、表彰する。
- 8) 学術集会 優秀演題賞
一般演題の抄録による第一次審査、優秀演題賞候補セッションにおける口述発表による第二次審査を経て、優秀な演題を若干名選出し表彰する。

5. 内外の関連学術団体との連絡及び協力（定款第6条1項5号）

- 1) 加盟学術団体である日本老年学会の運営を、日本老年社会科学会、日本基礎老化学会、日本老年歯科医学会、日本ケアマネジメント学会、日本老年看護学会、日本老年薬学会と共に協議協力する。
- 2) 日本老年学会として加盟している国際老年学協会 International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG)の活動に参加協

力する。

6. 老年医学に関する普及啓発事業（定款第6条1項6号）

1) シンポジウム

1. 2027年3月 東京大学との共催で開催予定。

7. その他、目的を達成するために必要な事業（定款第6条1項8号）

- 1) 各種委員会(あり方委員会、あり方WG、財務委員会、総務委員会、雑誌編集委員会、GGI編集委員会、専門医制度委員会、老年科専門医検討小委員会、専門医試験作成・認定小委員会、高齢者医療研修委員会、研修認定審査小委員会、学術プログラム委員会、高齢者医療委員会、保険診療小委員会、認知症対策小委員会、在宅医療小委員会、高齢者災害医療小委員会、感染症対策・ワクチン療法小委員会、骨折転倒対策小委員会、科学的介護検討小委員会、高齢者がん診療小委員会、学術委員会、フレイル・サルコペニア対策小委員会、高齢者糖尿病の治療質向上のための合同委員会、高齢者薬物療法対策小委員会、基礎研究部会、CGA・5Ms最適化・普及WG、教育委員会、日本語版ICOPE2ハンドブック作成WG、テキスト作成・編集WG、用語委員会、顕彰委員会、優秀論文賞選考委員会、老化および老年医学研究助成選考委員会、高齢者栄養研究助成選考委員会、YIA選考委員会、倫理委員会、エント・オブ・ライフに関する小委員会、利益相反委員会、GL統括委員会、国際交流委員会、国内交流委員会、ダイバーシティ推進委員会、広報委員会、選挙管理委員会)を開催し本会の目的を達成するため種々の検討を行い活動する。
- 2) 市民公開シンポジウムは学術集会・地方会カリキュラムの中で開催予定。

収支予算書総括表

日 2026年4月1日

至 2027年3月31日

科 目		一般会計	専門法 特別会計	学務基金 特別会計	支部 特別会計	地方公 特別会計	内部取引消去	(単位:円)
								合計
1	1.事業活動収支の部							
2	1.事業活動収入							
3	基本財産運用収入	2,000						2,000
4	基本財産運用収入	2,000						2,000
5	会費収入	73,700,000						73,700,000
6	正会員会費収入	72,000,000						72,000,000
7	賛助会員会費収入	1,700,000						1,700,000
8	事業収入	39,760,000	13,200,000	73,600,000	820,000	17,100,000		144,480,000
9	支部会費収入				820,000			820,000
10	会費集行収入	31,350,000						31,350,000
11	専門法認定寄附料収入		1,760,000					1,760,000
12	専門法認定寄附料収入		2,640,000					2,640,000
13	専門法認定寄附料収入		5,800,000					5,800,000
14	寄附金収入			30,000,000		5,000,000		35,000,000
15	寄附金収入			5,000,000				5,000,000
16	各種セミナー等収入			30,000,000		5,000,000		35,000,000
17	地方機関収入			1,000,000		5,000,000		6,000,000
18	寄付金・助成金収入			7,500,000		2,000,000		9,500,000
19	研修収入	7,000,000						7,000,000
20	研修収入							
21	その他収入			100,000		100,000		200,000
22	収入	550,000	150,000	50,000	330			750,330
23	収入	1,410,000	100,000					1,510,000
24	収入	50,000	50,000	50,000	0			150,000
25	総合計からの繰入金収入			5,000,000	2,900,000	2,700,000	△ 10,600,000	0
26	総合計からの繰入金収入			5,000,000	2,900,000	2,700,000	△ 7,900,000	0
27	事業活動収入	114,012,000	13,350,000	78,650,000	3,720,330	19,800,000	△ 10,600,000	215,932,330
28	事業活動支出	50,650,000	8,650,000	75,500,000	1,904,696	19,800,000		156,504,696
29	総務部経費支出	23,900,000						23,900,000
30	総務部経費支出	23,900,000						23,900,000
31	総務部経費支出	1,250,000						1,250,000
32	その他会費支出	19,500,000						19,500,000
33	その他会費支出							
34	その他会費支出							
35	学務基金経費支出		5,650,000					5,650,000
36	支部経費支出			75,500,000				75,500,000
37	支部経費支出				1,904,696			1,904,696
38	地方公経費支出					19,800,000		19,800,000
39	人件費支出	70,700,000						70,700,000
40	人件費支出	35,000,000						35,000,000
41	福利厚生費支出	5,400,000						5,400,000
42	福利厚生費支出	2,700,000						2,700,000
43	会議費支出	1,100,000						1,100,000
44	通信運搬費支出	1,000,000						1,000,000
45	印刷製本費支出	1,000,000						1,000,000
46	消耗品費支出	1,200,000						1,200,000
47	光熱水料費支出	500,000						500,000
48	雑費支出	8,700,000						8,700,000
49	委託費支出	6,100,000						6,100,000
50	謝金・手数料支出	1,200,000						1,200,000
51	施設維持費支出	2,000,000						2,000,000
52	職員給与システム作成費支出	500,000						500,000
53	情報システム支出	4,000,000						4,000,000
54	雑費支出	300,000						300,000
55	総合計への繰入金支出	7,900,000	0	0	2,700,000	0	△ 10,600,000	0
56	総合計への繰入金支出	5,000,000			2,700,000	0	△ 5,000,000	0
57	支部活動収入	2,000,000						2,000,000
58	支部活動収入	900,000						900,000
59	事業活動支出	129,250,000	8,650,000	75,500,000	4,604,696	19,800,000	△ 10,600,000	227,204,696
60	事業活動収支差額	△ 15,238,000	4,700,000	3,150,000	△ 884,366	0	0	△ 5,472,366
61	2.投資活動収支の部							
62	2.投資活動収入							
63	投資活動収入	0	0	0	0	0	0	0
64	投資活動収入	0	0	0	0	0	0	0
65	2.投資活動支出							
66	固定資産取得支出	1,000,000	0	0	0	0		1,000,000
67	投資活動支出	1,000,000	0	0	0	0		1,000,000
68	投資活動収入	△ 1,000,000	0	0	0	0		△ 1,000,000
69	投資活動収入	740,000		3,150,000				3,890,000
70	投資活動収入	△ 16,970,000	4,700,000		△ 884,366	0	0	△ 13,154,366
71	前期繰越収支差額	377,679,342	25,583,496	0	29,370,459	0	0	433,633,297
72	前期繰越収支差額	380,701,342	30,283,496	0	27,486,093	0	0	438,470,931

収支予算書(一般会計)

自 2026年4月1日

至 2027年3月31日

(単位:円)

科 目	当期予算額(当年度)	前期予算額(前年度)	差 異	備考
1. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	2,000	2,000	0	
会費収入	73,700,000	76,800,000	△ 3,100,000	
正会員会費収入	72,000,000	75,000,000	△ 3,000,000	
賛助会員会費収入	1,700,000	1,800,000	△ 100,000	
会費集行収入	31,350,000	23,300,000	19,000,000	以迄転入経費の増加
地方機関収入	300,000	250,000	50,000	
別冊代掲載料収入	1,000,000	1,000,000	0	
会費集行収入	50,000	100,000	△ 50,000	
研修収入	7,000,000	20,000,000	△ 13,000,000	研修費の削減に20
研修収入	7,000,000	13,000,000	△ 6,000,000	
研修収入	1,410,000	1,242,000	168,000	
研修収入	320,000	500,000	△ 170,000	
研修収入	320,000	500,000	△ 170,000	
研修収入	750,000	242,000	508,000	
収入	550,000	36,000	492,000	
収入	500,000	5,000	495,000	
収入	50,000	50,000	0	
事業活動収入合計(A)	114,012,000	112,452,000	1,560,000	
2. 事業活動支出				
総務部経費支出	50,650,000	49,950,000	1,600,000	
総務部経費支出	23,900,000	22,400,000	1,500,000	
総務部経費支出	13,500,000	13,500,000	0	
総務部経費支出	1,000,000	1,000,000	0	
総務部経費支出	500,000	500,000	0	
総務部経費支出	8,800,000	7,000,000	1,800,000	OGI OpenAccess料
総務部経費支出	6,000,000	6,000,000	0	
総務部経費支出	6,000,000	6,000,000	0	個人用機用費削減経費
総務部経費支出	1,250,000	1,100,000	100,000	
総務部経費支出	1,000,000	900,000	100,000	
総務部経費支出	250,000	250,000	0	
その他事業活動支出	19,500,000	19,900,000	△ 400,000	
総務部経費支出	3,000,000	3,000,000	0	
総務部経費支出	10,000,000	10,000,000	0	
総務部経費支出	1,000,000	1,500,000	△ 500,000	
総務部経費支出	1,000,000	1,000,000	0	
総務部経費支出	1,900,000	1,900,000	0	
総務部経費支出	100,000	0	100,000	代議員選挙
総務部経費支出	500,000	500,000	0	
総務部経費支出	500,000	500,000	0	
総務部経費支出	500,000	500,000	0	
総務部経費支出	500,000	500,000	0	
総務部経費支出	500,000	500,000	0	
総務部経費支出	70,700,000	67,560,000	3,140,000	
人件費支出	35,000,000	33,000,000	2,000,000	
福利厚生費支出	5,400,000	5,000,000	400,000	社会保険料の上げ
福利厚生費支出	2,700,000	3,500,000	△ 800,000	
会議費支出	1,100,000	600,000	500,000	
通信運搬費支出	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	
印刷製本費支出	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	
消耗品費支出	1,200,000	1,500,000	△ 300,000	
光熱水料費支出	500,000	500,000	0	
雑費支出	8,700,000	9,300,000	△ 600,000	研修費削減、研修費削減に20
委託費支出	6,100,000	6,100,000	0	
謝金・手数料支出	1,200,000	1,200,000	0	
施設維持費支出	2,000,000	2,000,000	0	
職員給与システム作成費支出	500,000	500,000	0	
情報システム支出	4,000,000	0	4,000,000	情報費の増加に1
雑費支出	300,000	300,000	0	
総合計への繰入金支出	7,900,000	6,400,000	1,500,000	
総合計への繰入金支出	5,000,000	3,500,000	1,500,000	
支部活動収入	2,000,000	2,000,000	0	
支部活動収入	900,000	900,000	0	
事業活動収入合計(B)	129,250,000	123,010,000	6,240,000	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	△ 15,238,000	△ 10,558,000	△ 4,680,000	